



こんにちは

村田 けい子

です

2016.6月
No.56

夏号

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868



すっかり緑の季節。オニヤンマやホタルの飛び交う季節となりました。みなさんお元気でお過ごしのことと思います。私の住む西塩沢地域を歩いてもらう「ぶらりSHINDENまち歩き」のイベントが行われ、大勢の方がこの地区を訪れました。蓼科山から疎水を引き、豊かな水田を拓いた先人の労苦に思いを馳せながら、地域の魅力を改めて実感した取り組みでした。そんな祖先の想いを生かすためにも、平和でそしていつまでも農業が続けられるように、みんなで力を合わせて頑張りたいと思います。

6月議会の様子をお知らせします。ご意見ご要望をお寄せください。



新安保関連法の廃止を求める請願2本、本会議で可決！

9条を守るたてしなの会が出した「『集団的自衛権』行使を現実のものとする安全保障関連2法の廃止を求める請願」とピースアクション佐久が出した「『集団的自衛権』行使を具体化し、戦争につながる安全保障関連2法のすみやかな廃止を求める請願」の2本は、総務経済常任委員会（榎本真弓委員長）に於いて審議され、賛成少数で否決されましたが、本会議において、6:5で賛成多数となり可決、安倍首相あてに送付されました。

請願は3月議会に村田が紹介議員となり総務経済常任委員会で議論されましたが継続審査となっていました。6月議会で再び議題となり、委員会では実質的審査はなく、村田が情勢の変化について説明。採決の結果、賛成少数で否決。本会議では新たに、4人の賛同を得て可決。立科町議会の良識を示しました。

— 他に2本の意見書挙がる！ —

「義務教育費…」は社会文教建設常任委員会（森本信明委員長）で採択、「35人学級」については委員会では不採択となったが本会議で逆転採択されたもの。ともに国に対して教育費の増額・確保を求めるもの。

義務教育費国庫負担制度の堅持を求める陳情書	賛成多数○
国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める陳情書	賛成多数○



9条を守るたてしなの会主催で行われた「アベ政治許さない」立科軽トラパレード

これは重大！1億6千万円のペナルティ！

「前町長の時に契約した事務の共同事業化のシステムから、脱退を決めた。その代り、1億6千万円の負担金を支払わなければならないことになる」と町が議会全員協議会で説明。

前町長が契約した共同化事業は長野県下の全ての自治体が説明を受けたものの、実際に契約の段階には14自治体に減り、小規模自治体が多いのが特徴です。その際にも実際の負担金は示されず「経費はおおむね3割は削減できる」との言葉で契約したといます。今年になってから初めて町の負担金がしめされ、改めて現在のシステムとの経費の比較をしたところ①毎年1,000万円多くかかること、初期投資に4,000万円以上かかることが判明。③新しい職員も多い中、新システムに慣れるまでは2重の仕事になることなどから、ペナルティ料金を払っても抜けたほうが安くなるとの判断です。

町の試算によると、抜けることで約1億6000万円の経費は掛からなくて済みますが、ほぼ同額の違約金を支払えば帳消しになります。そもそも、必要経費や負担金を示されない段階でなぜ契約したのか、町の対応が問われます。

シナノタンポポ



我が家にて育成中

昔はどこにでもあったシナノタンポポ。今は西洋タンポポに押されて、ほとんど見られません。

シナノタンポポは自家受粉では種ができず異株が必要らしい。また半日蔭を好むようです。我が家では、古来種を増やそうといろいろやっています。今では30株ほどに増えて、お分けできるまでになりました。里親を募集中です。



今週のパチリ

まだ始まってもないのに違約金 1億6000万円余が課せられる！
電算共同化事業から抜けるとー

前回お知らせした違約金の話、あまりの高額に「確認するまでは」と金額の公表を控えました。読者からも「どういうこと？」との問い合わせが。総務課長に再び確認すると・・・。

①昨年2月に前町長が、電算化共同事業への参加を決めたこと（14市町が参加）

②その際、負担金は示されなかったが「**おおむね3割は削減できる**」とする見通しが示された事

③ 今回ようやく町の負担金が示されたので、町が現在行っている電算システムの経費と比較すると毎年1,000万円多くかかり、初期投資で4,000万円以上かかることが判明。

入らないほうが1億6000万円以上お得で済むこと。（下図）

④ しかし今、共同化事業から抜けると、1億6000万円強の違約金が発生すると説明を受けたということ。

この試算を受けて町は、共同化事業から抜けることを議会全員協議会（2月16日）で説明。抜ければ違約金が発生するが違約金を支払っても参加するよりは割安であり、また、慣れたシステムで安定していることから混乱や新たな経費がかからないとのメリットが報告されました。

事業はまだ始まっておらず、あらたな設備投資や人的配置など実質的な投資が全く行われていない段階での多額な違約金。メリットが吹きとぶ違約金です。

この金額はあまりに不当ではないでしょうか。私は離脱の判断には賛成し、違約金については「支払う必要がないのではないかと主張しました。町は弁護士とも相談したいとしています。

旅行などの申し込みでも、まだ全く実害が出ていない段階ではキャンセル料は発生しません。こんな非常識が通るのでしょうか。税金で支払うことになるのです。これだけのお金が有れば病院へのバスの確保（しかも何年間分も）や各種保険料の引き下げなどができますよね。

	電算共同化にすると	現状のままだと	差額
H 2 8 年度	56,131,840	10,767,600	-45,364,240
10年間の負担経費	432,214,720	270,992,655	-161,222,065



消費税の8%へ増税、雇用形態の不安定化・非正規化・国保税など公共料金の値上げと改悪など、若い世代を取り巻く環境は悪くなるばかり。

こうした事態を受けて、保育料や給食費の無料化を実施する自治体が増えています。立科町でも段階的に無料化を進めるよう、町長に質しました。

Q、「子育てしやすい町」を実現するために、町長が取り組んだことは？

A、①同時入所でもなくとも第3子以降の保育料を無料にしたこと。

- ②児童館の延長時間の利用料を無料に戻したこと
- ③児童館職員を増やして、人の配置を増やしたこと
- ④妊産婦にまで医療費無料を上げたこと。
- ⑤若い世代の移住者に住宅取得費100万円の補助制度を作ったこと。

Q H28年度より、国の制度が変わり、同時入所でもなくとも「第2子は半額、第3子は無料」（ただし年収360万円以下）となったが当町ではどのようなか。

A、16人が対象 2,584,200円の負担軽減。

Q、半額となっている第2子の保育料を無料にするにはどれほどの財源が必要か。 A、年間258万4200円 260万円弱あれば、第2子は無料にできる。

Q、保育園に通う第1子と第2子（半額）を完全無料にするにはどれほどの財源が必要か？

A 3,300万円



Q 給食費を無料にするには？

A 小—1895万円 中学—1188万円

Q 就学援助制度*を利用しやすく、所得の目安を入れた申請書に改善を。

給食費が無料になる就学援助制度の利用状況は？

A 小学校 29人 8.1%
中学校 24人 11.9% (2015年度) 平均 9.7%

Q、給食費を全員に無料にするには財源がどれほど？

小学校 約1895万円
中学校 約1188万円 合わせて 約3,100万円

Q、保育料+給食費の完全無料化には？

保育料で 約3,330万円
給食費で 約3,100万円 合計で約6,400万円

¥¥¥ これは町の一般会計の わずか1.4% ¥¥¥

〈無料化が実現すれば〉

保育園の3歳未満児、小学生、中学生の3人の子のいる家庭では 保育料で年間27万円（最も多い階層）

給食費 小学校 55,620円

中学校で 60,000円

合わせて38万5620円の負担軽減に。

給食費については全国で、「全員対象の全額補助」の自治体が45にも。半額補助や一部補助など何らかの補助制度を実施している市町村は206にも。（2015年11月実施善教アンケート）ここ2年間で急速に増加。保育料と給食全額補助の自治体も現れました。

子どもの貧困率は16%にもなっています。貧困の連鎖を断ち切るためにも、教育費や保育料など社会全体で支援する仕組み作りが急務です。



立科温泉「権現の湯」の魅力アップを！ 知恵出しの「パワーアップ委員会」を



眺望抜群！権現の湯の内風呂

Q 昨年より利用者が8,000人減少と聞いた。現状は？

A H10年~27年度 のべ385万人が利用
H14年度以降、減り続け
ここ5年間は 平均20万人。
H27年度は 19.4万人

Q まずは前年並みに。1日30人の利用増を図るには、抜本的な見直しで部屋の有効活用を。コミュニティセンターや公民館の様に。

- 料金値上げ…これは絶対にしないこと
400円であることが大きな魅力。
- カラオケルームの有効活用…
健康器具を置く、健康教室、ヨガ教室など積極的な活用を「ゆうふる田中」に学べ

- 和室の利用…平日の利用を増やすために、〇〇教室・講習会・展示会やイベント開催
- エントランスホール・壁の活用
盆栽展、木工作品展、小学生の絵画展示、保育園の子どもたちの工作・手芸の展示など
- 食事のリニューアル…ピザ・ホットドッグなど若者・子どもに人気のファストフードも取り入れて

Q 足の確保…バスの導入を。食事・カラオケとセットで2000~2500円のメニューで送迎を。

専門家も含め活性化のための知恵出し会議を設置してさらに魅力的なお風呂に。

ご意見をお寄せください。

【6月補正予算の特徴】

① 0歳児保育について検討する運営委員会の設置予算 6.3万円

② 遊休荒廃地を復旧するための補助金（30a分に新たにそばを作付する補助金21万円）…細谷ソバの会に交付予定。

③ 町の町有林14.12haの伐採についての補助金800万円が県から入る予定。切り出した木材は今後売却予定 約1460万円

④ 白樺高原のPRポスター200枚を熊谷駅に一斉に張り出し宣伝するために印刷する費用 印刷は300枚 22万円 張り出しは6月下旬の4日間、掲載料は無料。立科町職員が終電後張り出すことに。宣伝効果を期待したいですね。

